

NEWS

◆ウエスティンホテル東京 クリスマスチャリティ

毎年12月になると大きなクリスマスツリーが登場するウエスティンホテル東京。優しい気持ちがたくさん集まるクリスマスに、今回も子供地球基金へのチャリティのご協力をお寄せ頂きました。

週末に開かれたクリスマス・ミニコンサートでは、心温まる演奏ときれいな歌声が響くなか、クリスマスをお客様を、中国、インドネシア、ハンガリーの子どもたちが描いたクリスマスの絵がお出迎え。コンサートに色を添えました。そして今年も、温かい気持ちのこもったチャリティクッキーが販売されました。ウエスティンホテルのパティシエが作る美味しいクッキー。大切なご家族やお友達へ、たくさんの方々に買い上げ頂きました。

この売上げは子供地球基金を通し、心のケアを目的としたアートワークショッププログラムの充実に使用させていただきます。



◆オフィス空間に子どものアートを展示 ~アートルースプログラムのご紹介~

東京・千代田区。高層ビルがそびえたち、国会議事堂にも程近い一帯に位置するオフィスビルのあるフロア。そこに、世界中の子どもたちによって描かれた色鮮やかな絵を目にすることが出来ます。エレベーターが開くと正面の壁には、原色で描かれた目にもまぶしいアイルランドの子どもの絵。応接室には、日本の子どもによって描かれた「元気な地球」。どれもオフィススペースに華やきを与え、子どもたちのパワーで空間が満たされているようです。

これは、子供地球基金への協賛活動のひとつ「アートルースプログラム」。子供地球基金が所蔵する世界中の子どもたちのアートを一定期間リースしていただくことで、ご寄付を頂戴し、子どもたちへの支援活動の一端を担っていただいています。今回新たにご参加してくださったのは資産の総合コンサルティングカンパニー・リオグループで、今年1月よりオフィス内に絵を飾っていただいています。

この「アートルースプログラム」には、リオグループの他、企業や個人、カフェなどでも協力いただいています。



アートルースプログラムとは？

子供地球基金が所蔵する世界中の子どもたちが描いた絵画の中から、額装をした作品を一定期間お貸し出しし、より広く一般の皆さまと共有してまいります。このユニークなプログラムは、一般の法人企業、研究所、学校、病院、政府機関、飲食店、各店舗など、又は個人の方々にも幅広くご参加頂けます。

1. まずはお好みの作品をお選びください
リース作品リストをお貸し出しいたしますので、その中からお選びください
現物をご覧になりたい場合には、子供地球基金恵比寿ギャラリーまでお運びください
2. 寄付 ※リースはすべて寄付としての扱いになります
サイズ小 3,000円/月 程度～
サイズ大 5,000円/月 程度～ 送料は別途ご負担ください
3. リース期間： 6ヶ月～

◆子供地球基金は、2008年 創立20周年を迎えます

20周年記念イベント ~子どもの絵で地球を塗り替えよう~ 4月18日(金)より1週間 東京ミッドタウンにて

2008年春。子供地球基金創立20周年を記念して、東京ミッドタウンにて参加・体験型チャリティイベントを開催します。

世界各国の子どもたちが描いた作品を展示する「キッズ・アース・ギャラリー」をはじめ、子供地球基金20年間を振り返る活動VTRの放映、子どもたちが未来の地球をイメージして大きなキャンバスに絵を描く参加型アートワークショップなど、大人はもちろんのこと、子どもたちも楽しくチャリティを体験出来るイベントです。皆さまのご来場をお待ちしております。

- 主催： 子供地球基金・朝日新聞
- 協力： 東京ミッドタウン
- 期間： 2008年4月18日(金)～24日(木)
- 会場： 東京ミッドタウンB1F アトリウム並びに屋外コートヤード、芝生広場
- 参加料： 無料

一著名人によるトークセッション (メイン会場・アトリウム 特設ステージ)

1～3名程度のゲストと子供地球基金代表鳥居晴美が、子供地球基金20年の歩みをおりまぜながら、地球のために何が出来るか、日本発信で何が出来るのかについて語り合う。

子どもたちの社会参加を導くために「子ども・地球・環境」の視点でトークセッションを展開。

- 期間中 毎日15時～16時
- 出演ゲスト(予定)： 五十嵐淳子氏(女優)、渡辺篤史氏(俳優)、高樹沙耶氏(女優)、三枝成彰氏(作曲家)
波頭亮氏(経営コンサルタント)、原島博氏(東京大学教授)
岩男壽美子氏(慶應義塾大学・武蔵工業大学 名誉教授)、他調整中

■ NEW MEMBER 新規にご入会いただいた方々です

【個人会員】 横山桂子 様 【法人会員】 エイメル・ザ・ショップ

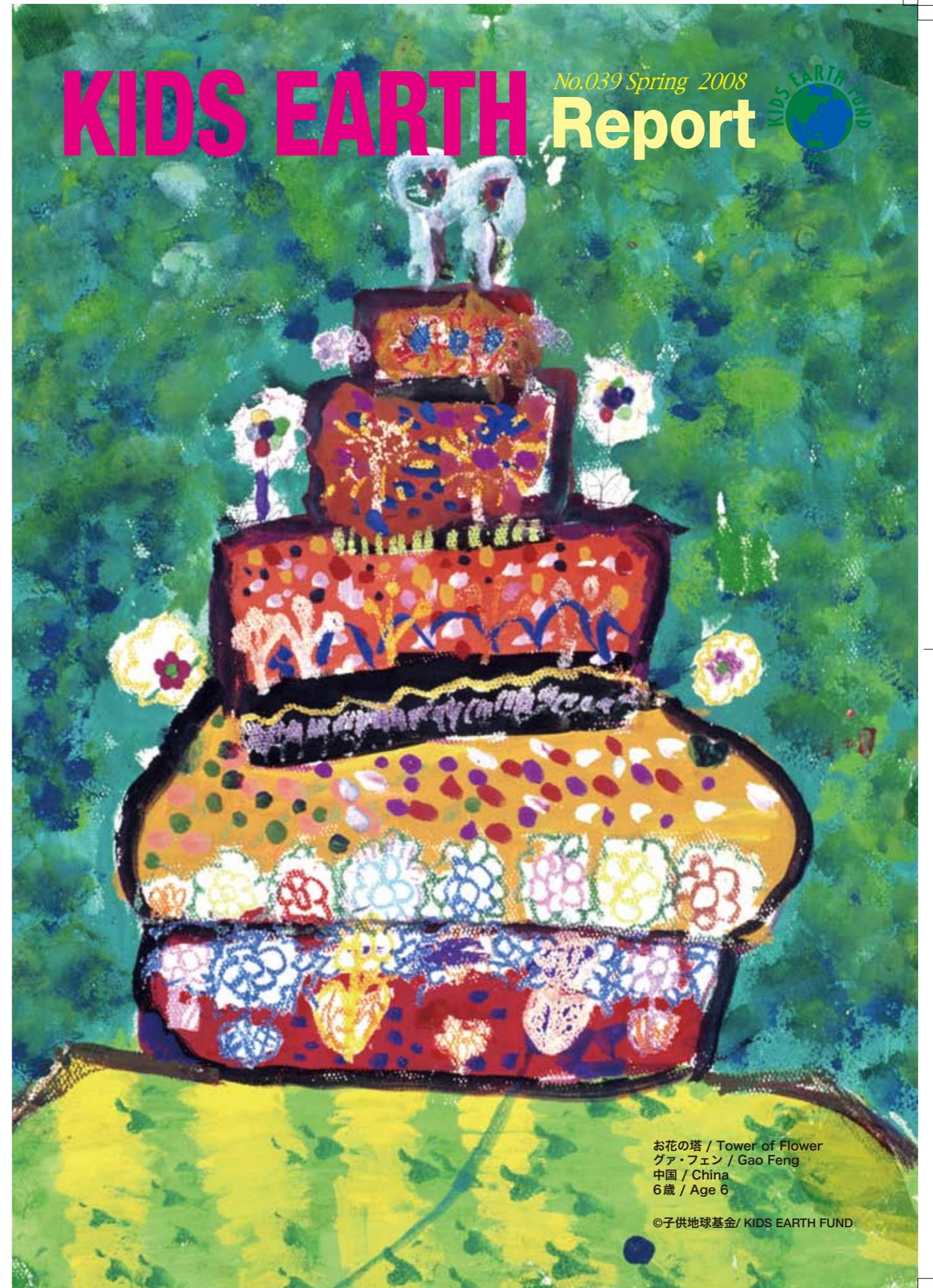
(2007年12月1日～2008年2月29日現在・五十音順)

子供地球基金/KIDS EARTH FUND 〒150-0013 渋谷区恵比寿3-25-2 TEL: 03-5449-8161 / FAX: 03-5449-3962
E-mail: info@kidsearchfund.org / URL: http://www.kidsearchfund.org/



KIDS EARTH Report

No.039 Spring 2008



お花の塔 / Tower of Flower
グァ・フェン / Gao Feng
中国 / China
6歳 / Age 6

©子供地球基金/ KIDS EARTH FUND

KIDS EARTH HOME Project

キッズ・アース・ホームプロジェクト

2月9日よりベトナム、カンボジアのキッズ・アース・ホームを訪問。物資支援ならびにアートワークショップを実施しました。



第5号キッズ・アース・ホーム ベトナムの子どもたちと作品

ベトナム、カンボジアでキッズ・アース・ホームに通う子どもたちとのアートワークショップ。今回は、身近に使えるカラフルなサインペンや色鉛筆を用いて、身の周りの花木やおうちなど、それぞれが自由な表現を行いました。

昨年秋に新校舎が完成し、校庭にはブランコやシーソーなどの遊具を設置したばかりのカンボジアの第6号ホーム。遠くから通学する子どもたちの数も増え、子どもたちの勉強する意欲もますます高まってきているようです。ここでのアートワークショップで描かれた作品のなかには、新しくなった校舎の様子や、校庭でバレーボールを楽しむ風景を描いたものも。子どもたちの笑顔がもっと増えるように、今後も引き続き、物心両面からのサポートを続けて参りたいと思います。



カンボジアの子どもたち



世界に広がる タペストリープロジェクト

子供地球基金20周年記念事業「タペストリープロジェクト」がいよいよ動き出しました。

世界中の子どもたちが自由に描いたキャンバスを繋ぎ合わせたタペストリー。これを世界各地で展示し、子どもたちからのメッセージを発信します。

海外での展示会最初の会場はベトナム・ホーチミン。カトリック教会に飾られると、大人から子どもまで、たくさんの注目が集まりました。ベトナムの他に、カンボジアや日本、そして中国、フィリピン、パキスタン、クロアチア、セネガルなど、遠く知らない国々から来た絵に興味津々。描かれているものも、その国々で様々です。この国はどこにあるんだろう？という子どもたちが暮らしているんだろう？タペストリーを通じて、世界との繋がりを感じられたようです。

この教会では、今後子どもたちによるアートワークショップを定期的に開いていくことになりました。タペストリーをきっかけにして、またKIDS HELPING KIDSの輪が広がります。



KIDS EARTH CAR Project

キッズ・アース・カープロジェクト

メリー・キッズ・クリスマス・プロジェクト

クリスマスは、毎年子どもたちがプレゼントを楽しみにしている季節です。2007年末、子供地球基金では、都内をはじめとする16の病院・施設の子どもたち、約1,300人にクリスマスプレゼントを寄贈しました。ボランティアの皆さんと一緒に子どもたちにプレゼントを手渡した愛育養護学校では、子どもたちから歓声があがるほど喜んでもらえました。また都内の病院では、プレゼントした絵本を子どもたちが毎日楽しく読んでいるようです。

またラッピング作業にもたくさんのボランティアの皆さんにお手伝いいただき、多くの方々関わった素晴らしいプロジェクトとなりました。



ボランティアによるラッピング作業



病院スタッフの皆さんも大喜び

〈〈お届け先病院・施設〉〉

(五十音順)
社会福祉法人「愛の家ファミリーホーム」/ 学校法人「愛育養護学校」/ 神奈川県立こども医療センター/ 財団法人「がんの子供を守る会」/ 慶應義塾大学病院/ 児童自立支援施設「国立武蔵野学院」/ 児童養護施設「至誠学園」/ 昭和大学病院/ 東京医科歯科大学医学部附属病院/ 東京医科大学病院/ 東京慈恵会医科大学附属病院/ 東京大学医学部附属病院/ 東邦大学病院医療センター大森病院/ 日本医科大学付属病院/ 児童養護施設「野の花の家」/ 他

〈〈ご提供各社〉〉

(五十音順)
㈱ウィーヴ/ キャドバリー・ジャパン(株)/ キューサイ(株)/ きりく・ハンドベルアンサンブル(株)キャラ研/ サノフィ・アベンティス(株)/ ㈱トンボ鉛筆/ ニューウェル・ラバーメイド・ジャパン(株)/ ミスマッチジャパン(株)/ 他



色鉛筆やメモパッドなど



慈恵医大 〜わたし/ほくだけのカレンダーを作ろう〜

2008年、最初アートワークショップ。新しい1年のはじまりに、カレンダー作りに挑戦しました。

今回のキャンバスは、ボランティアの皆さんにお手伝い頂き、3ヶ月ごとに日付を貼った4枚の台紙です。

特別に2週に分けて、1週目には1～3月と4～6月、2週目には7～9月と10～12月と、それぞれ2枚ずつを描きました。

絵の具を使って、自由なテーマで描くことに、最初は題材を悩んでいた子どもたちも、それぞれに絵筆を手にすると、ダイナミックに描き始めます。

今年はどんな1年になるのかな。色々な楽しいことを想像しながら描いていると、筆はどんどん進み…。手のひらや指までも上手に使い、次々にカラフルなオリジナルカレンダーが出来上がっていききました。

世界でひとつだけのカレンダーがあれば、今年は楽しいこといっぱいになるかも！

窓の外に吹く冷たい風なんて忘れてしまうくらい、子どもたちのエネルギーが溢れ出したアートワークショップとなりました。



神奈川県立こども医療センター 〜好きな色で好きなものを 描いてみよう!〜



大きなキャンバスに絵を描くのは楽しいなあ

神奈川県立こども医療センターでの最初のアートワークショップは、自由に絵を描いてみるというもの。参加した11人の子どもたちは、ボランティアのお兄さん・お姉さんとおしゃべりしながら、好きな色を自由に使い、キャンバスに見事な絵を描きました。なかには自分の顔に絵の具を塗ってしまう子どももいましたが、子どもたちからは「見て！今日はお花の絵を描いたよ！」「こんな車が本当に走っていらしいのに！」などと嬉しい声が上がりました。

子どもたちが描いた絵は、5月5日の子どもの日のために、院内で飾られる予定です。子どもたちの素晴らしいアート作品がたくさんの人に感動と勇気を与えるものになりますように。



色鮮やかな素晴らしい作品が出来上がりました!

コラム DEAR KIDS, DEAR THE EARTH vol.20

子供地球基金との出会いのこと

子供地球基金 顧問 藤原和博 (杉並区立和田中学校校長)

悔しかった思い出がある。20年近く前、女性誌に載っていた小さな記事を頼りに、私が初めて表参道のラフォーレにあったキッズアースギャラリーを訪ねたときのこと。子供たちの絵を地球の未来のために売っているというのが気に入ったのだ。

当時、リクルート出版というリクルートの関連会社が立ち行かないということで手じまいするところだった。どうせ潰すならマルチメディア対応の新しい出版社に生まれ変わらせるからと、私が経営を引き受けた。メディアファクトリー社の誕生だ。そのオフィスに絵を飾りたいと思った。

雑誌に載っていた小さな絵は、赤い額に収められていて、その図柄がラフォーレのビルの壁面を飾っていた。傷つけられた地球が包帯をしたような、リボンがかかっているような、また、星からのプレゼントをもらっているような、不思議な絵。タイトルだろうか、「HAPPY BIRTHDAY EARTH」とある。

私は迷わず「この絵をください！」と係の女性に声をかけた。目が点になり、いかにも困ったように「これは…ちょっと。他の作品ならお譲りできるんですが」と返される。私は再び「どうしても、これが欲しいんだけど」と取りすがる。

何度かのやり取りの後、女性は電話をした。代表の鳥居晴美氏に助けを求めたためだ。「その絵だけは勘弁して下さい。じつは…息子の絵なんです」と電話の向こうで母が答える。のちに、この電話はオーストラリアにつながっていたこと、同じ昭和30年生まれで、射手座で血液型まで一緒であることが判明。翌年、メディアファクトリーから「HAPPY BIRTHDAY EARTH」の絵本が出た。

展覧会

●京都・左京区
5/11(日)～24(土)
ル・カフェ338にて

●東京・世田谷
11/14(水)～12/25(火)
玉川高島屋S-Cにて

●東京・世田谷
11/21(水)～12月末
東京玉川日産病院にて

●東京・目黒区
12/22(水)～12/25(火)
ウエスティンホテル東京 ロビーにて

●東京・千代田区
4/27(日)
三井住友銀行主催コンサート会場
日本大学カザルスホールにて

●東京・港区
4/18(金)～24(木)
東京ミッドタウンにて
子供地球基金創立20周年記念イベント
～子どもの絵で地球を塗り替えよう～